

# 18歳意識調査 「第39回 - 性行為 -」要約版

---

日本財団 2021年7月28日

# 目次

調査概要	3
性行為についてのイメージ	5
性に関する知識が十分にあるか	6
性行為の経験	7
性行為に関する知識を得る先	8
安全な性行為などについて相手と話をしたことがあるか	9
妊娠を望む性行為以外で避妊の必要性を感じるか	10
避妊の必要性をどの程度感じているか	11
避妊の必要性を感じない理由	12
避妊はどちらがするか	13
避妊方法に不安を感じたことはあるか	14
避妊方法への不安を感じた際の相談先	15
妊娠、その兆候についての相談先	16
性行為に伴う性感染症のリスクについての不安	17
性感染症罹患経験	18
性感染症についての相談先	19
内容による相談先の違い	20
緊急避妊薬を処方箋なしで薬局で入手できることについて	21
緊急避妊薬を処方箋なしで薬局で入手できること 賛否理由	22
学校での性教育は役に立ったか	23
学校での性教育について	24
学校での性教育で深めてほしかった内容	25

# 調査概要「18歳意識調査」 - 性行為 -

**調査対象** 全国の17歳～19歳男女

**回答数** 1000  
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

**調査除外** 下記の関係者は調査から除外  
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/  
情報提供サービス・調査業/広告業

**実施期間** 2021年6月17日（木）～6月24日（木）

**調査手法** インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

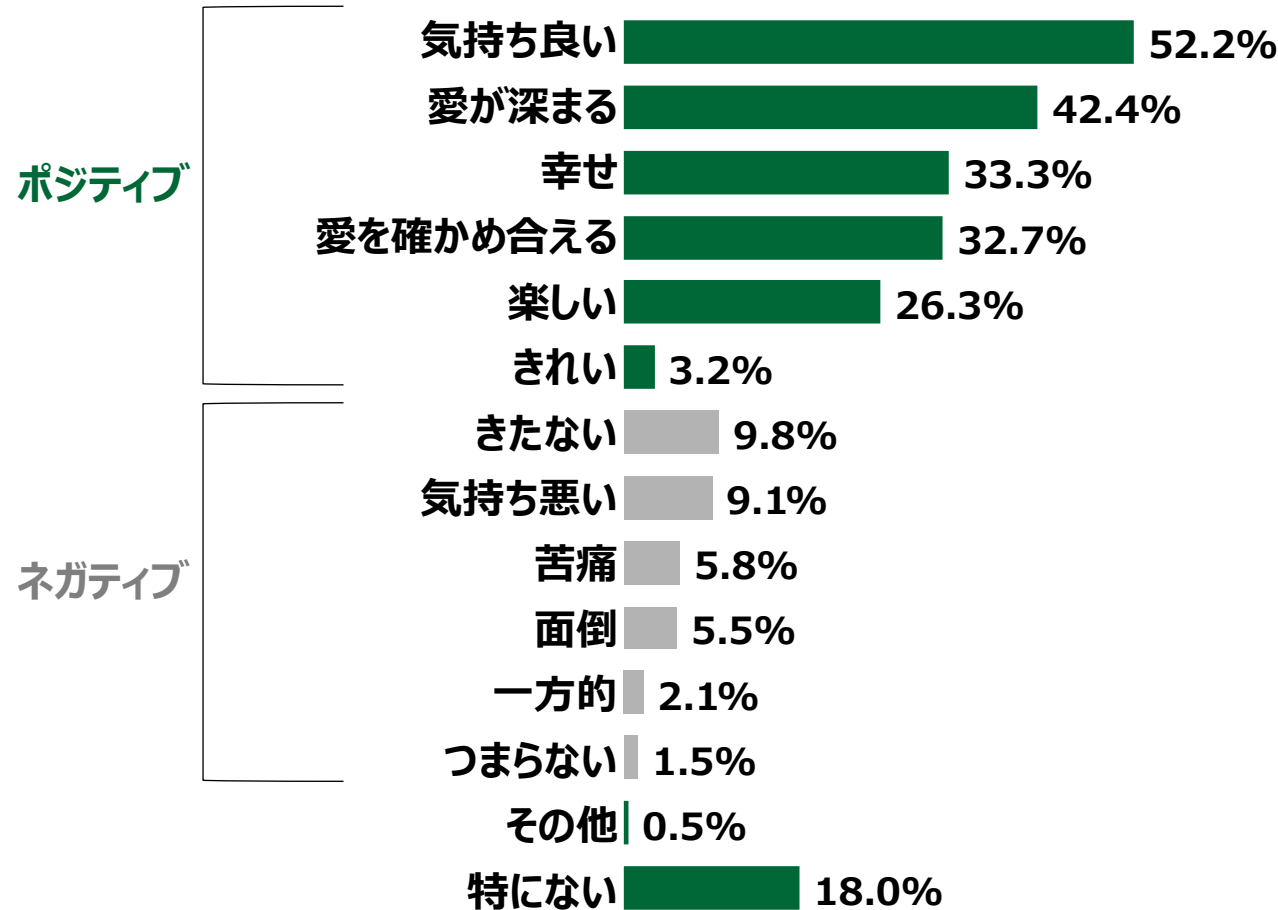
# 要約

---

# 性行為についてのイメージ

性行為についてのイメージはポジティブなイメージが主に挙がり、「気持ち良い」（52.2%）、「愛が深まる」（42.4%）、「幸せ」（33.3%）が上位。

Q 性行為についてどのようなイメージを持っていますか。（複数回答）（※回答拒否者除く n=935）



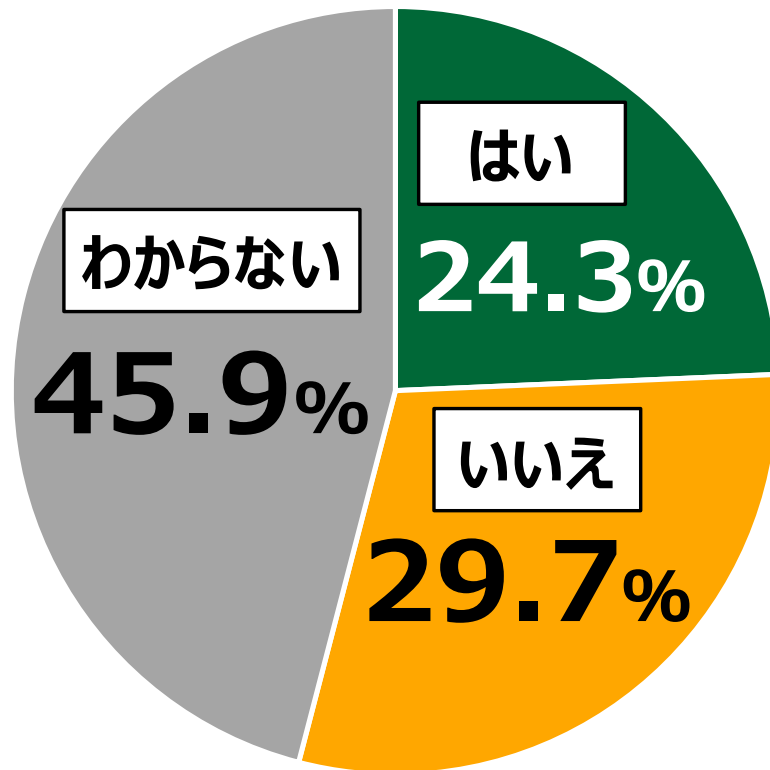
# 性に関する知識が十分にあるか

「わからない」という回答が多く、45.9%を占める。「はい」は24.3%、「いいえ」が29.7%。

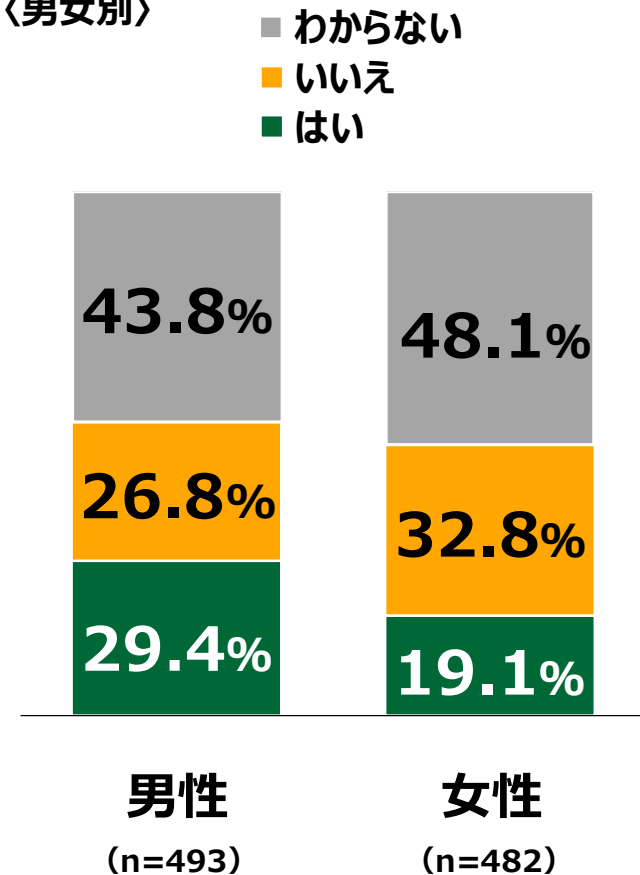
- 男性は「はい」29.4%、「いいえ」26.8%、女性は「はい」19.1%、「いいえ」32.8%。男性の方が性に関する知識があると思っている割合が高い。

Q 自分には性に関する知識が十分にあると思いますか。（※回答拒否者除く）

〈全体〉 (n=975)



〈男女別〉

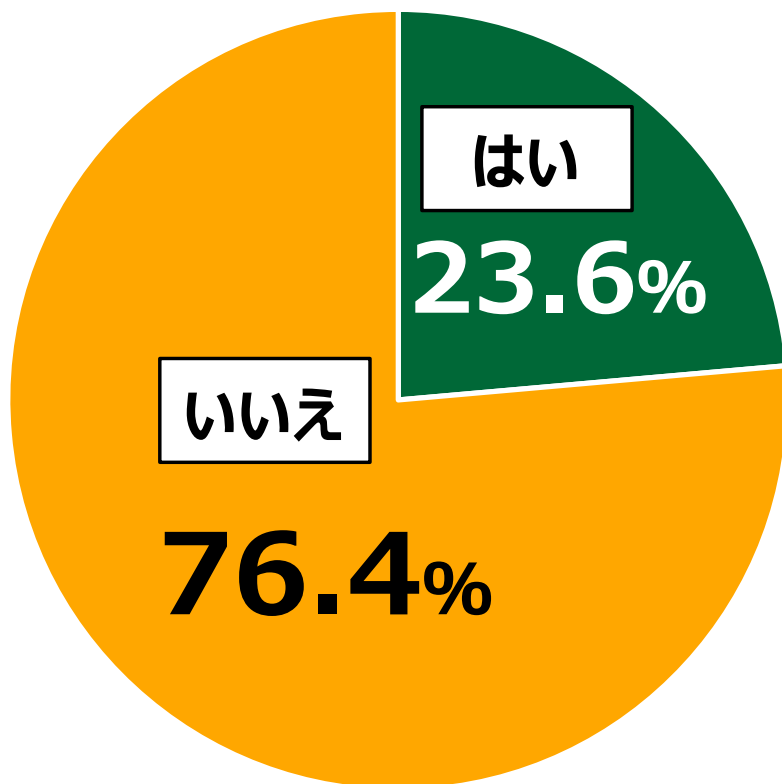


# 性行為の経験

23.6%の人が性行為の経験あり。

はじめての経験の年齢は、「17歳」（27.6%）が最多。次いで「18歳」（24.6%）、「16歳」（20.7%）が多い。

Q 性行為の経験はありますか。（※回答拒否者除く n=920）



■ 性行為の経験がある方

Q はじめての経験は何歳の時ですか。（単一回答）  
（※回答拒否者除く n=203）

10歳以下 0.0%

11歳 0.0%

12歳 3.0%

13歳 3.0%

14歳 5.9%

15歳 10.3%

16歳 20.7%

17歳 27.6%

18歳 24.6%

19歳 4.9%

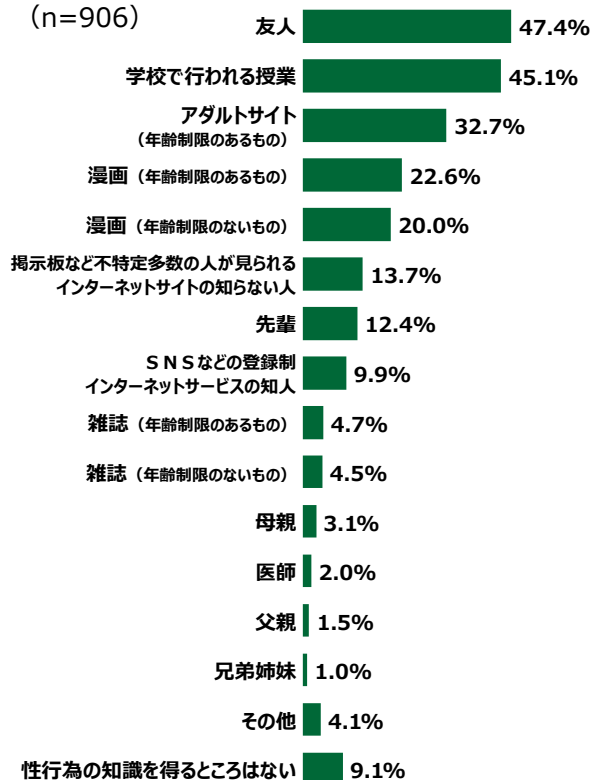
# 性行為に関する知識を得る先

「友人」(47.4%)が最多。ほか、「学校で行われる授業」(45.1%)、「アダルトサイト(年齢制限のあるもの)」(32.7%)、「漫画(年齢制限のあるもの)」(22.6%)、「漫画(年齢制限のないもの)」(20.0%)が上位に挙がる。

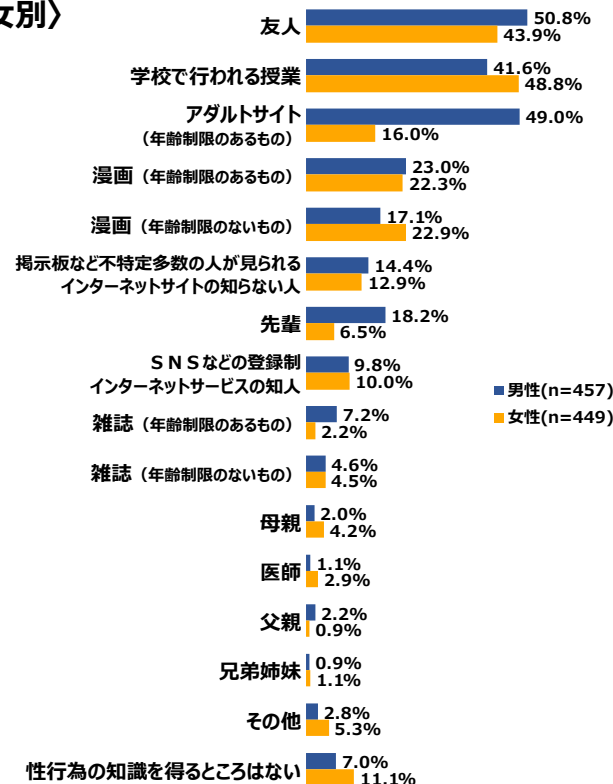
- 男性は1位「友人」、2位「アダルトサイト(年齢制限のあるもの)」、3位「学校で行われる授業」。
- 女性は1位「学校で行われる授業」、2位「友人」、3位「漫画(年齢制限のないもの)」。
- 「アダルトサイト(年齢制限のあるもの)」は特に大きく差があり、男性で49.0%に対し女性では16.0%。

Q 性行為に関する知識は、どこで得ていますか。(複数回答) (※回答拒否者除く)

〈全体〉 (n=906)



〈男女別〉



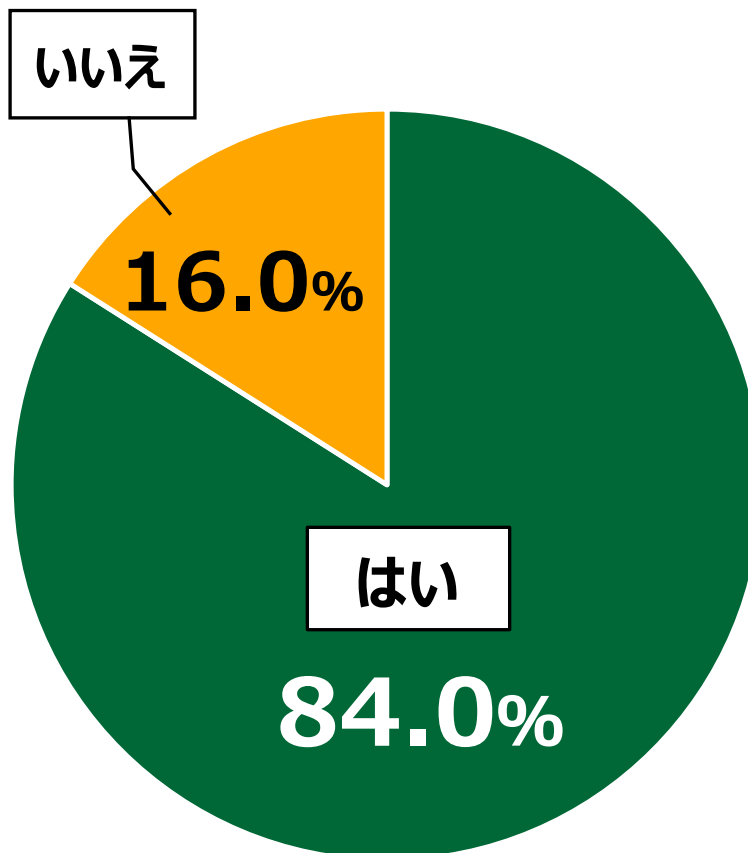


# 安全な性行為などについて相手と話をしたことがあるか

「はい（＝相手と話したことがある）」と回答した人は84.0%。

## ■性行為の経験がある方

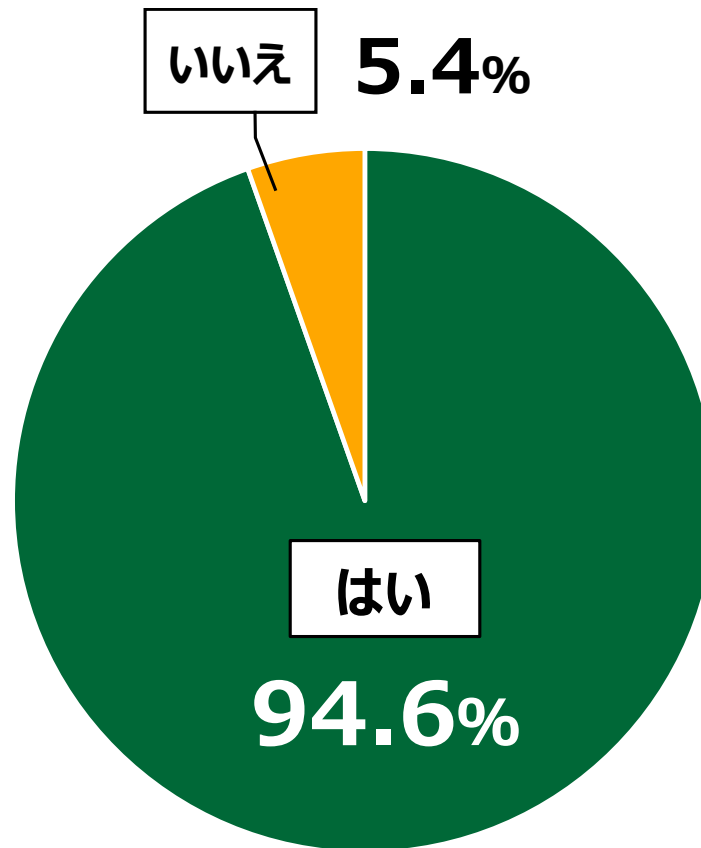
- Q 性行為の経験がある方は、安全な性行為や、性に関する意思決定、性的同意（注1）について、相手と話をしたことがありますか。（※回答拒否者除く n=206）  
（注1）性的同意:性的な行為をする前に相手から得る同意



# 妊娠を望む性行為以外で避妊の必要性を感じるか

94.6%の人が避妊の必要性を感じている。

Q 妊娠を望む性行為以外で、避妊の必要性を感じますか。（※回答拒否者除く n=943）

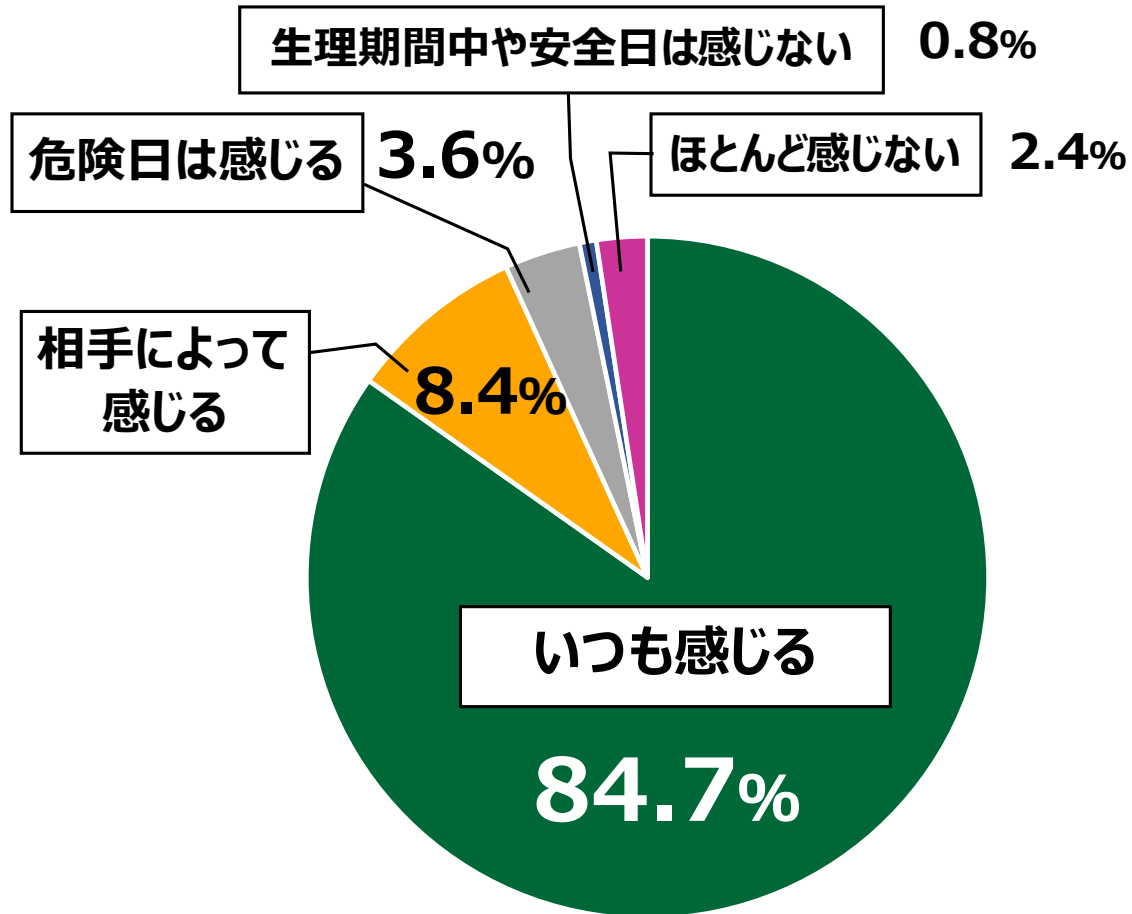


# 避妊の必要性をどの程度感じているか

避妊の必要性について、84.7%の人が「いつも感じる」と回答。

■ 避妊の必要性を感じている方

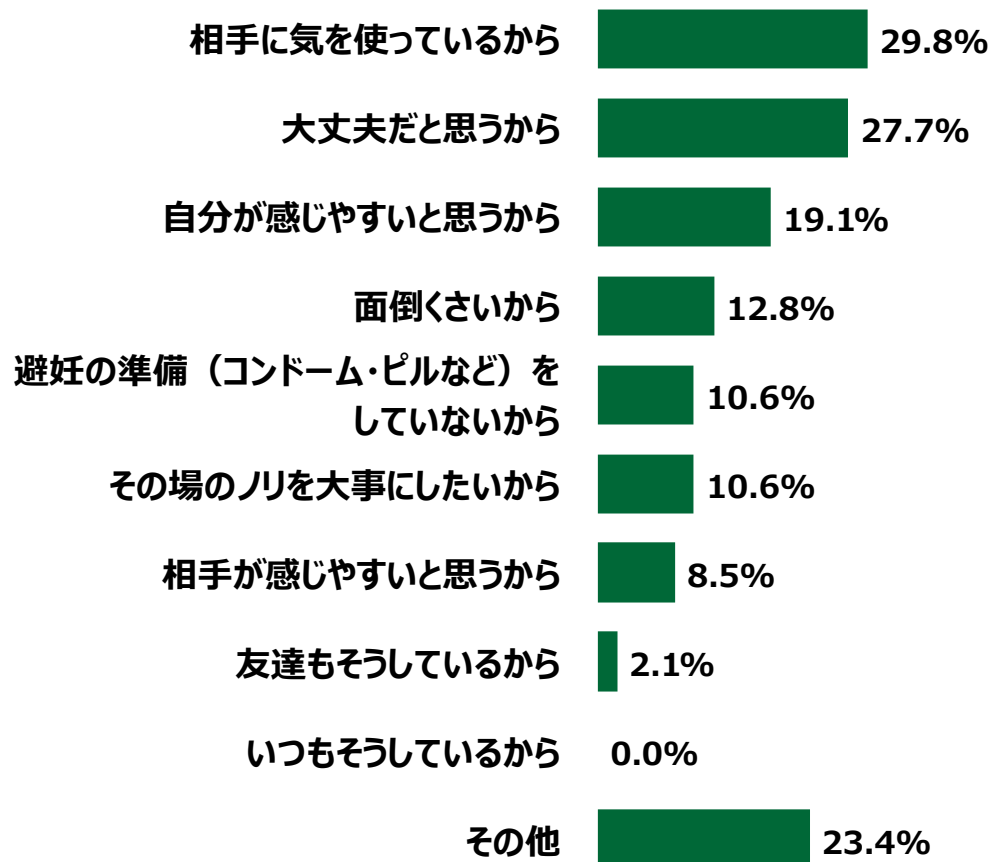
Q 避妊の必要性をどの程度感じていますか。（※回答拒否者除く n=824）



# 避妊の必要性を感じない理由

避妊の必要性を感じない理由は、「相手に気を使っているから」(29.8%)、「大丈夫だと思うから」(27.7%)、「自分が感じやすいと思うから」(19.1%)が上位に挙がる。

■ 避妊の必要性を感じない方または前問で「生理期間中や安全日は感じない」「ほとんど感じない」回答者  
Q 避妊の必要性を感じないとした方は、なぜですか。(複数回答) (※回答拒否者除く n=47)



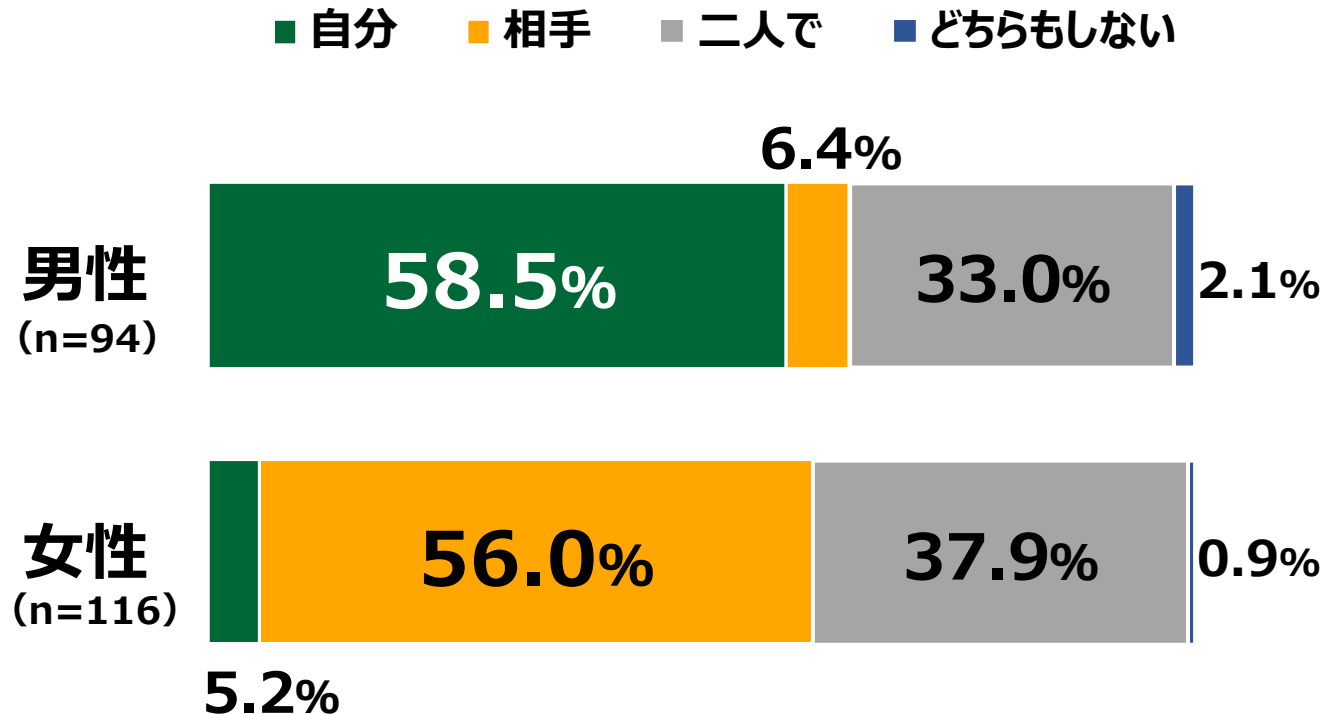
# 避妊はどちらがするか

男性は58.5%が「自分」と回答したのに対し、女性は56.0%が「相手」。

- 男性は「自分」58.5%、「相手」6.4%、「二人で」33.0%。女性は「自分」5.2%、「相手」56.0%、「二人で」37.9%。男女とも「二人で」が3割以上いるものの、男性側のみが避妊をしている割合が高い。

■ 性行為の経験がある方

Q 性行為の際に避妊をするのは相手ですか。あなたですか。（※回答拒否者除く）



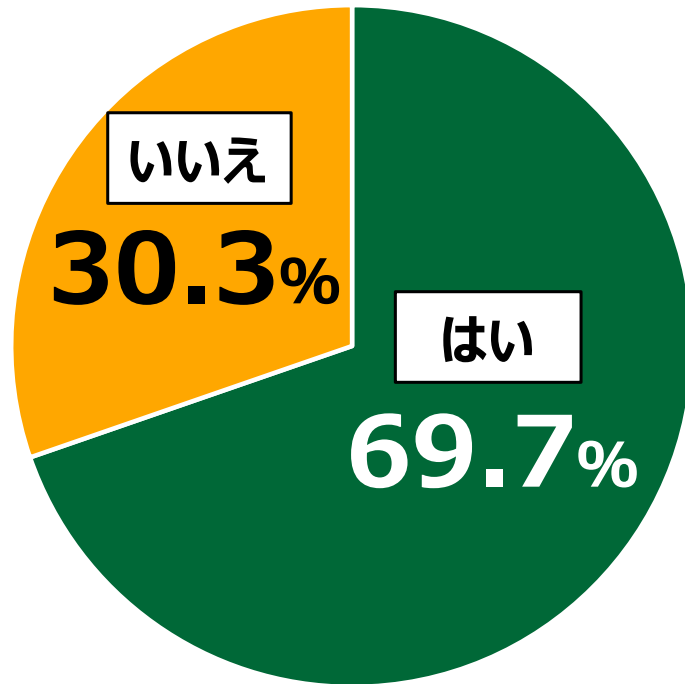
# 避妊方法に不安を感じたことはあるか

69.7%の人が避妊方法について不安を感じたことがある。

- 不安を感じたことがある割合は、男性は66.7%、女性は73.0%。

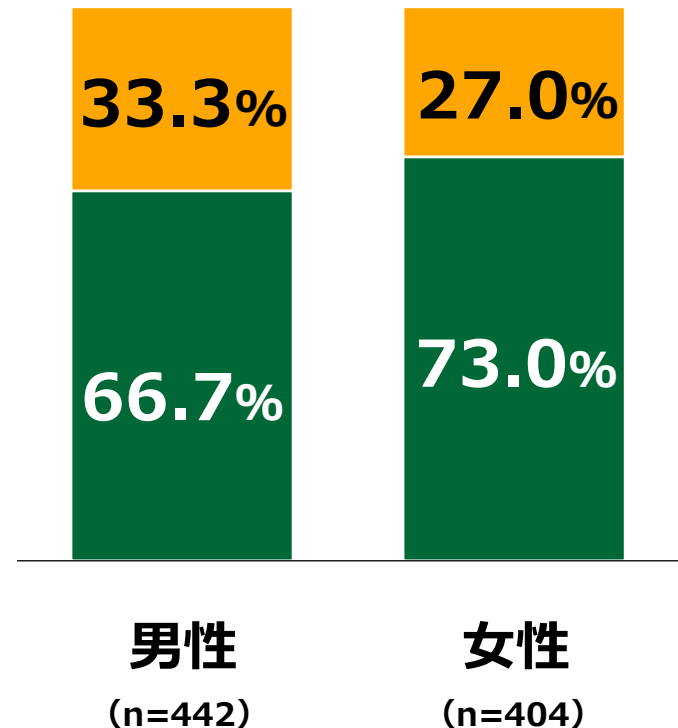
Q 性行為に際して、コンドームのサイズや装着方法、装着するタイミングなど、正しい避妊方法かどうか、不安を感じたことはありますか。（※回答拒否者除く）

〈全体〉 (n=846)



〈男女別〉

■ いいえ  
■ はい



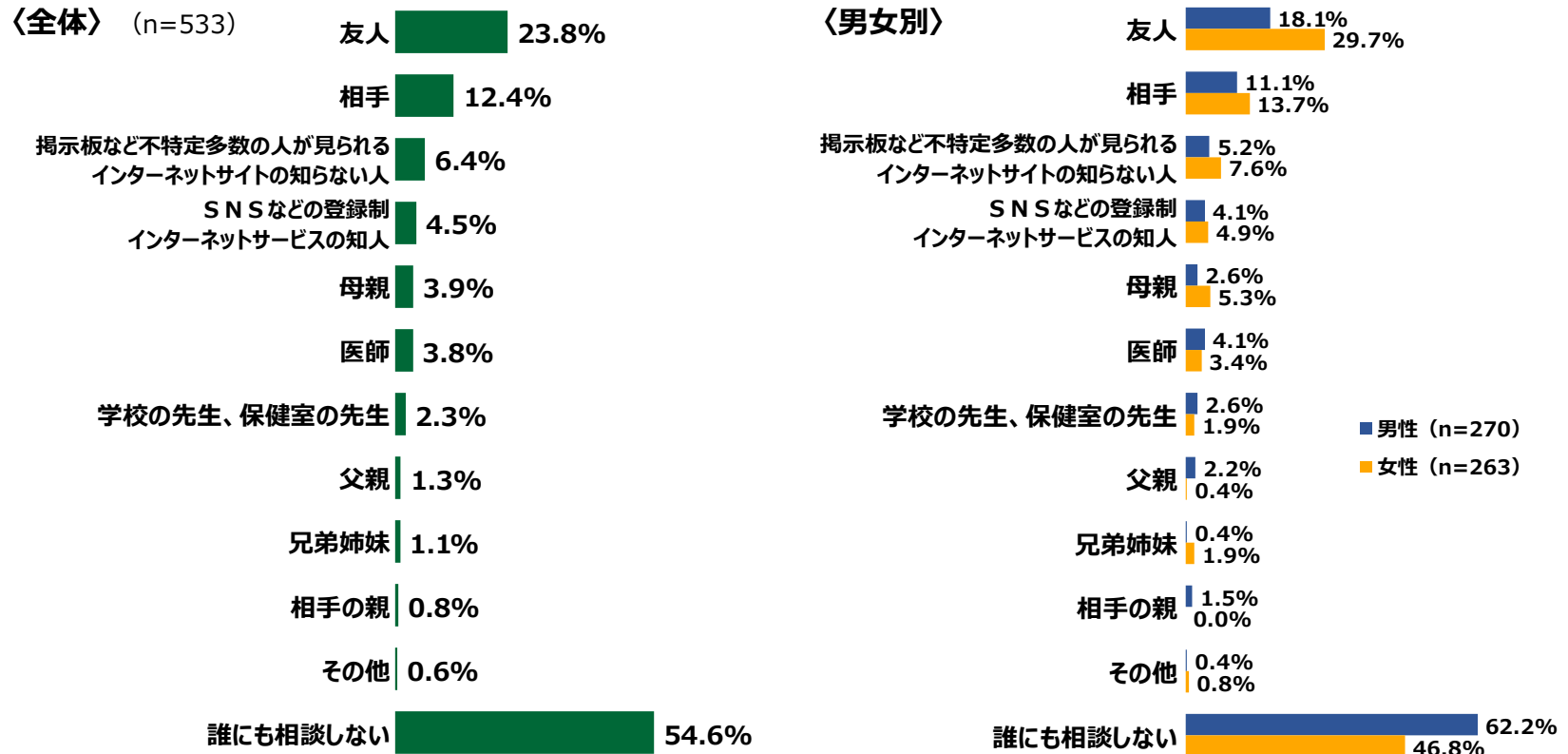
# 避妊方法への不安を感じた際の相談先

避妊方法への不安を感じた際の相談相手は、「誰にも相談しない」が54.6%で過半数を占める。相談相手の中では、「友人」(23.8%)が最多。「相手」は12.4%。

- 男女とも「誰にも相談しない」が多くを占め、男性62.2%に対し、女性では46.8%。男性は避妊方法の不安を誰にも相談しない割合が高い。相談相手は、男女とも1位「友人」、2位「相手」、3位「掲示板など不特定多数の人が見られるインターネットサイトの知らない人」。

## ■ 避妊方法への不安を感じたことがある方

Q 不安を感じた際に、誰かに相談できましたか。(複数回答) (※回答拒否者除く)

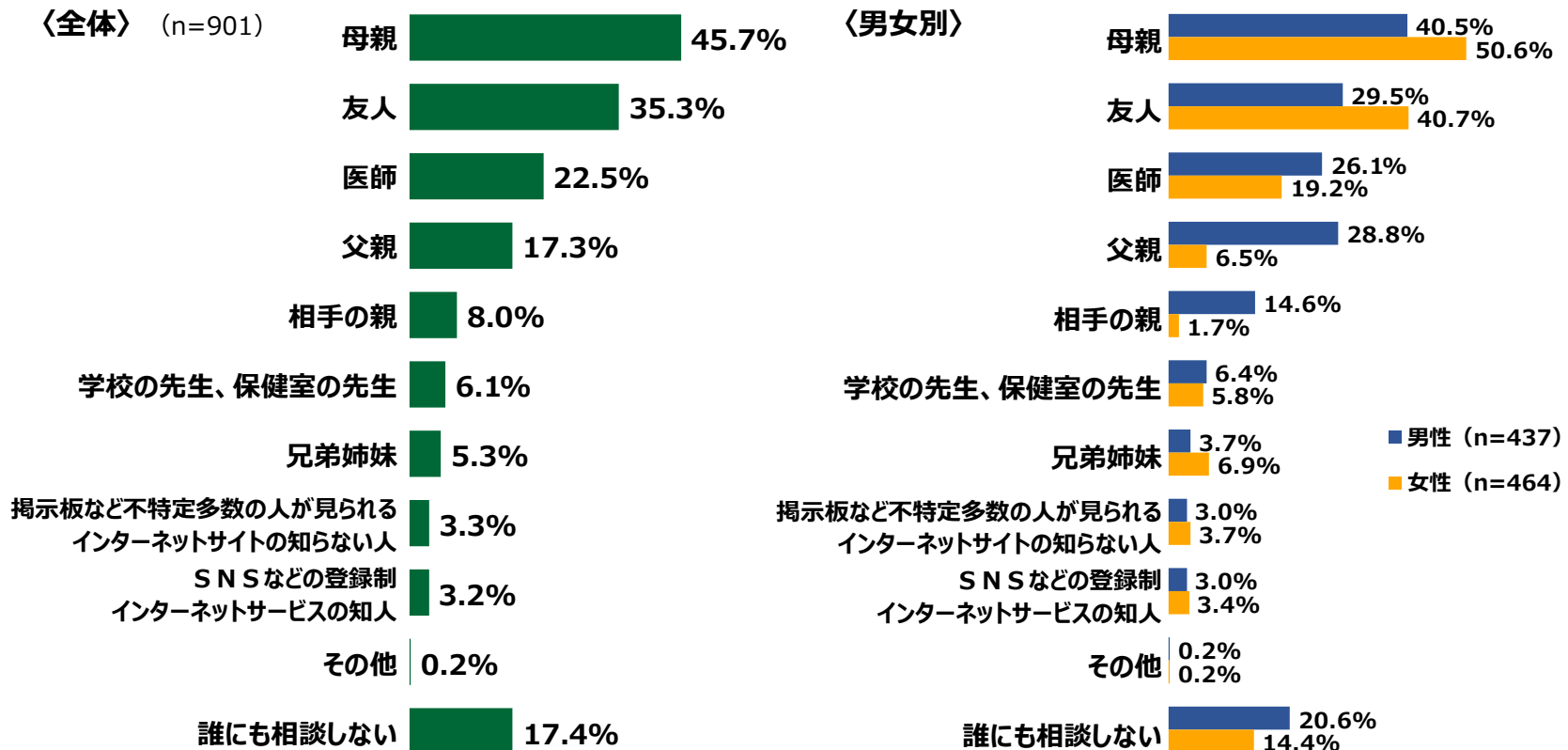


# 妊娠、その兆候についての相談先

妊娠やその兆候についての相談先は「母親」(45.7%)が最多。次いで、「友人」(35.3%)、「医師」(22.5%)、「父親」(17.3%)が多い。

- ・ 男性は1位「母親」、2位「友人」、3位「父親」。女性は1位「母親」、2位「友人」、3位「医師」。「父親」は男性28.8%、女性6.5%、「相手の親」は男性14.6%、女性1.7%と男女で差が見られた。

Q あなたが(または相手が)妊娠したと感じられる、あるいは妊娠が確認された場合、相手以外で誰に相談しますか。(複数回答) (※回答拒否者除く)

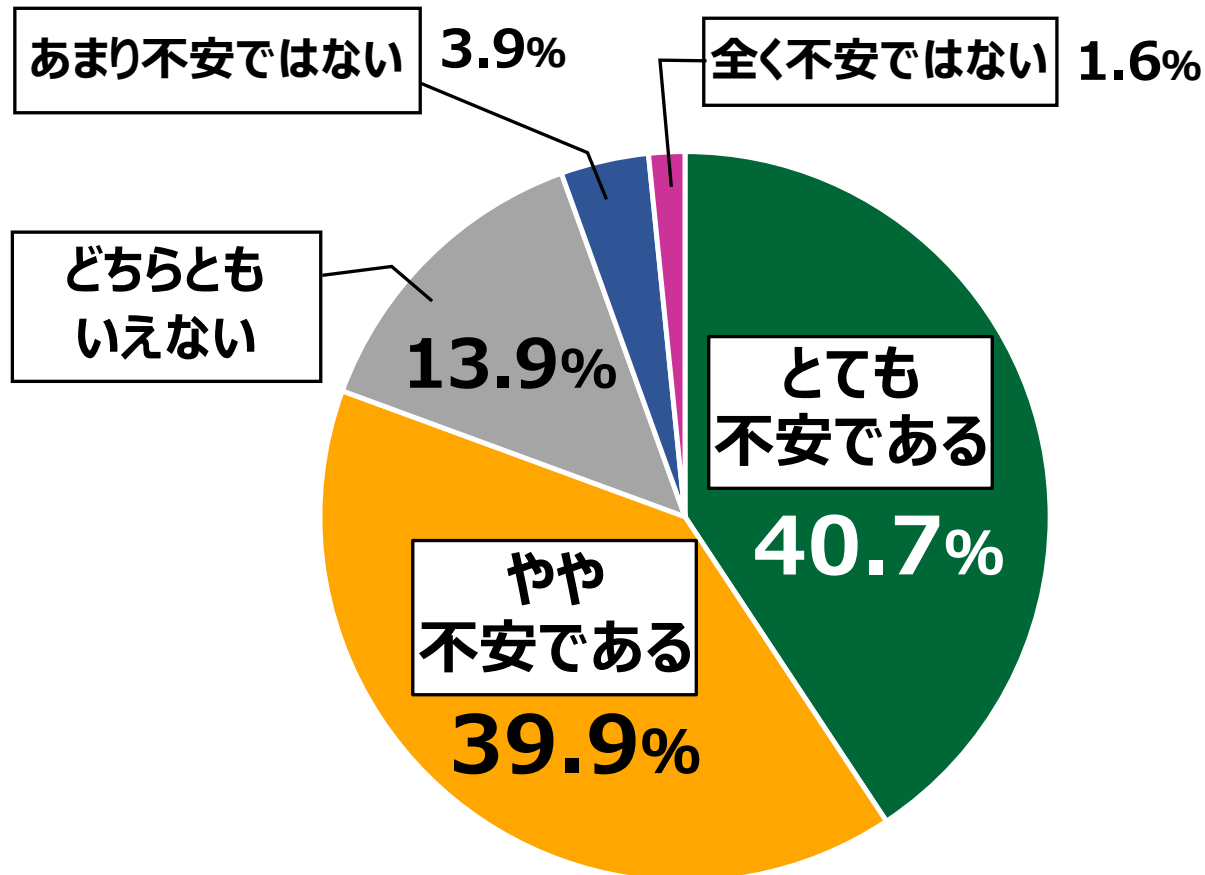




# 性行為に伴う性感染症のリスクについての不安

性感染症のリスクについて、「とても不安である」が40.7%、「やや不安である」が39.9%と、80.6%の人が不安を感じている。

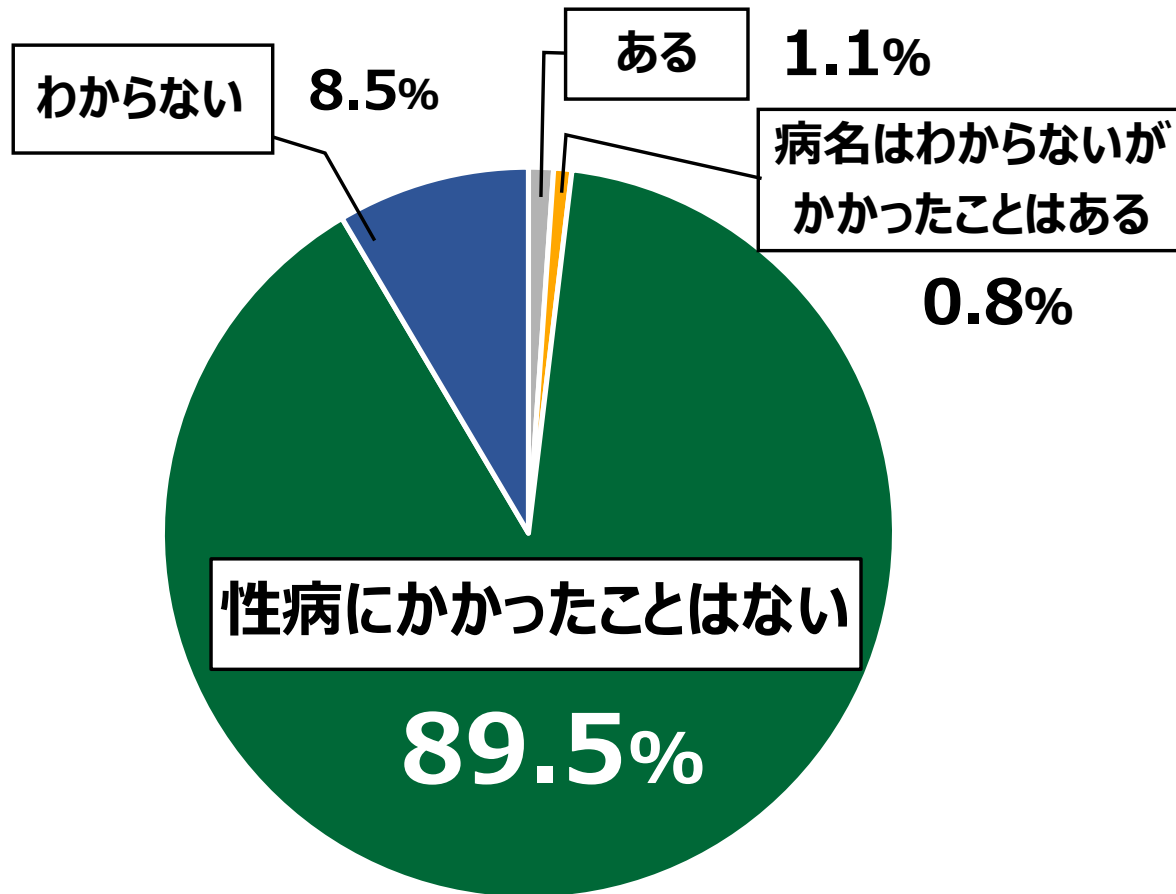
Q 性行為に伴う性感染症のリスクについて不安に感じますか。（※回答拒否者除く n=932）



# 性感染症罹患経験

性感染症については、89.5%の人が「性病にかかったことはない」と回答。「ある」は1.1%、「病名はわからないがかかったことはある」が0.8%。

Q 性感染症（性病）にかかったことはありますか。（※回答拒否者除く n=960）



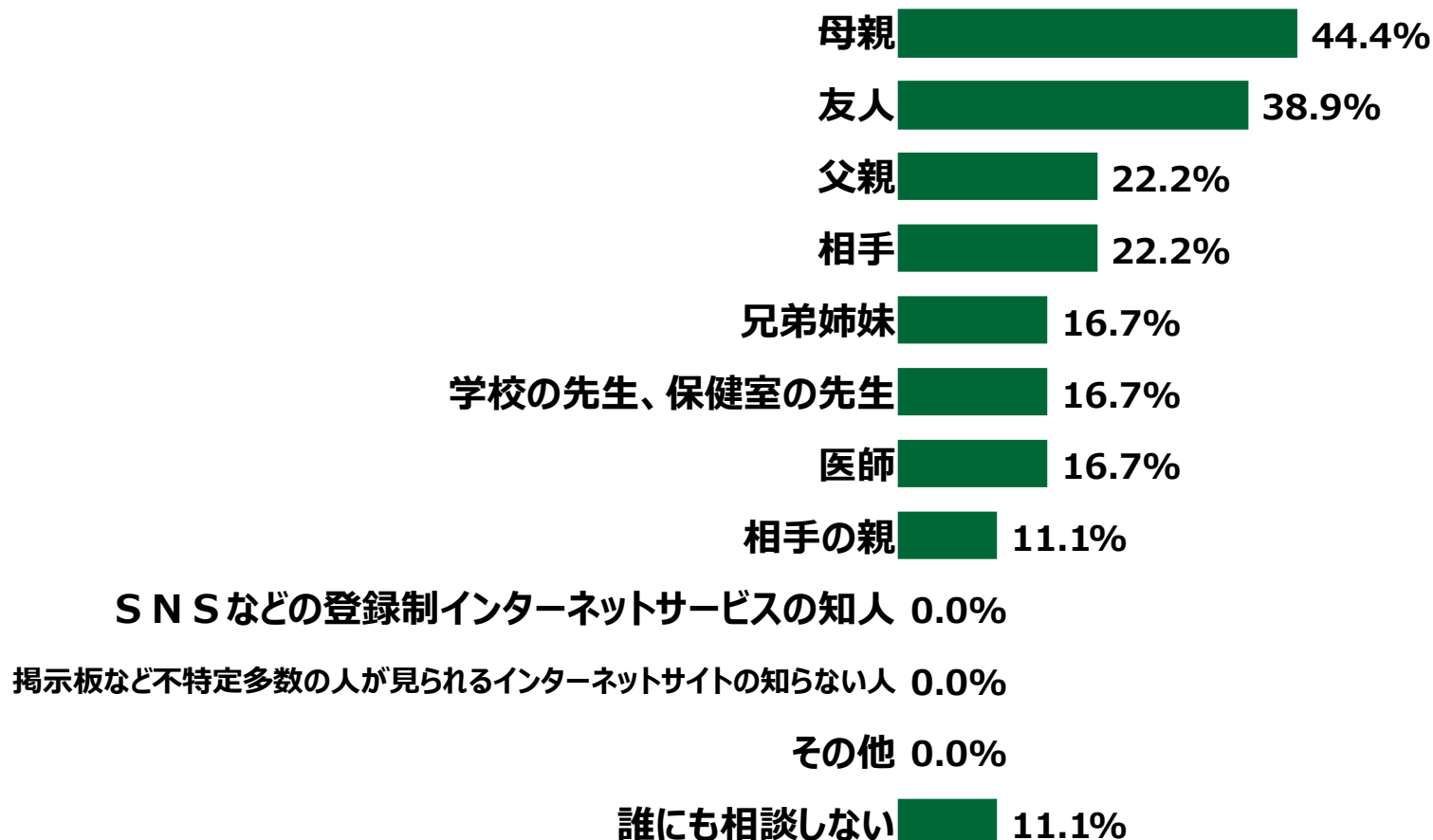
# 性感染症についての相談先

性感染症にかかったことについての相談先は、「母親」「友人」「父親」「相手」が上位に挙がる。

※回答者が少数のため、参考値として扱う。

■性感染症にかかったことがある方

Q 性感染症にかかったことを誰かに相談しましたか。（複数回答）（※回答拒否者除く n=18）



# 内容による相談先の違い

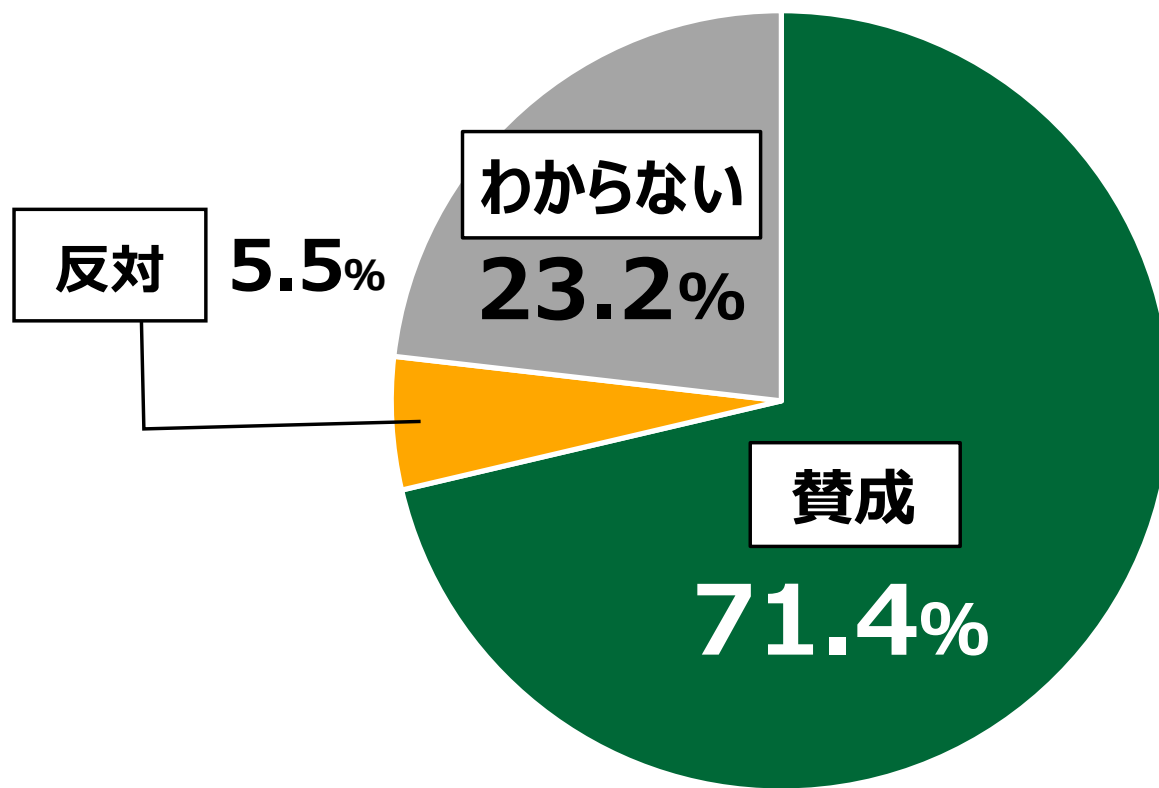
いずれの相談先でも多く挙がるのは「友人」。妊娠や性感染症の相談では「母親」が最も多い。避妊方法への不安については「誰にも相談しない」が過半数を占める。

	避妊方法への不安 相談先 (複数回答) (n=533)	妊娠、その兆候 相談先(相手以外) (複数回答) (n=901)	性感染症 相談先 (複数回答) (n=18)
母親	3.9	45.7	44.4
父親	1.3	17.3	22.2
相手	12.4		22.2
相手の親	0.8	8.0	11.1
友人	23.8	35.3	38.9
兄弟姉妹	1.1	5.3	16.7
学校の先生、保健室の先生	2.3	6.1	16.7
医師	3.8	22.5	16.7
SNSなどの登録制インターネットサービスの知人	4.5	3.2	0.0
掲示板など不特定多数の人が見られるインターネットサイトの知らない人	6.4	3.3	0.0
その他	0.6	0.2	0.0
性行為の知識を得るところはない／誰にも相談しない	54.6	17.4	11.1

# 緊急避妊薬を処方箋なしで薬局で入手できることについて

緊急避妊薬を処方箋なしで薬局で入手できることについては、「賛成」が71.4%で、「反対」(5.5%)を大きく上回る。

- Q 厚生労働省は、現在、国内で購入するには医師の処方箋が必要となっている緊急避妊薬を処方箋なしに薬局で買えるようにする見直し案の検討を進めています。緊急避妊薬を処方箋なしで、薬局で入手できることについて、どう思いますか。  
(※回答拒否者除く n=954)

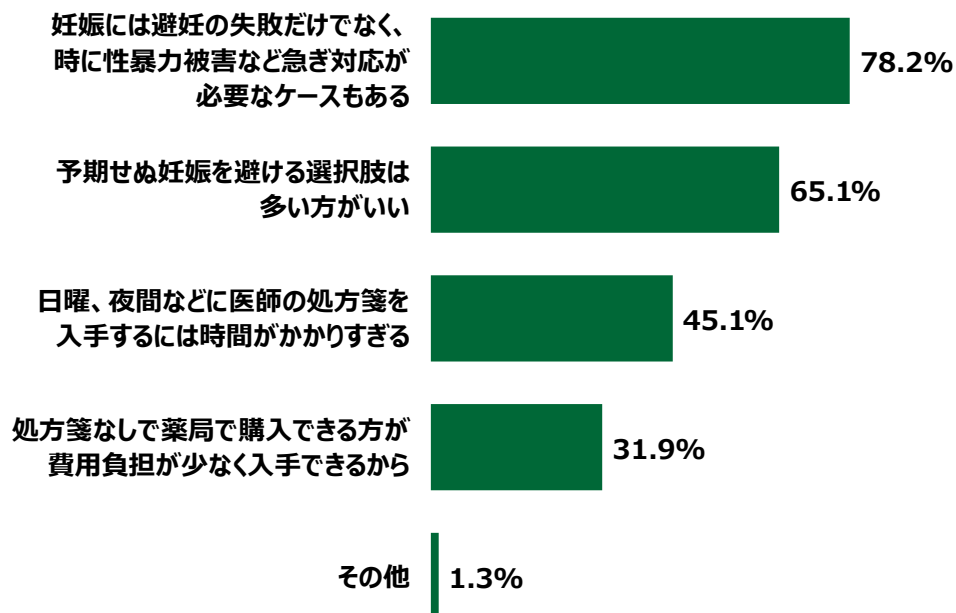


# 緊急避妊薬を処方箋なしで薬局で入手できること 賛否理由

「賛成」の理由としては、「妊娠には避妊の失敗だけでなく、時に性暴力被害など急ぎ対応が必要なケースもある」（78.2%）が最多。次いで「予期せぬ妊娠を避ける選択肢は多い方がいい」（65.1%）が多い。  
 「反対」の理由は「緊急避妊薬を飲めば大丈夫といった安易な風潮が広がる恐れがある」（76.0%）が最多。

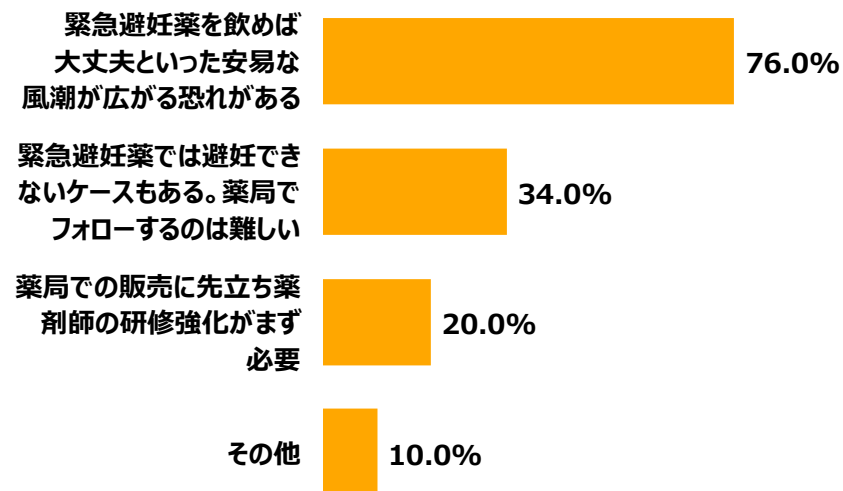
## ■ 「賛成」回答者

Q 緊急避妊薬を処方箋なしで、薬局で入手できることについて「賛成」の方にうかがいます。  
 理由は何ですか。（複数回答）  
 （※回答拒否者除く n=670）



## ■ 「反対」回答者

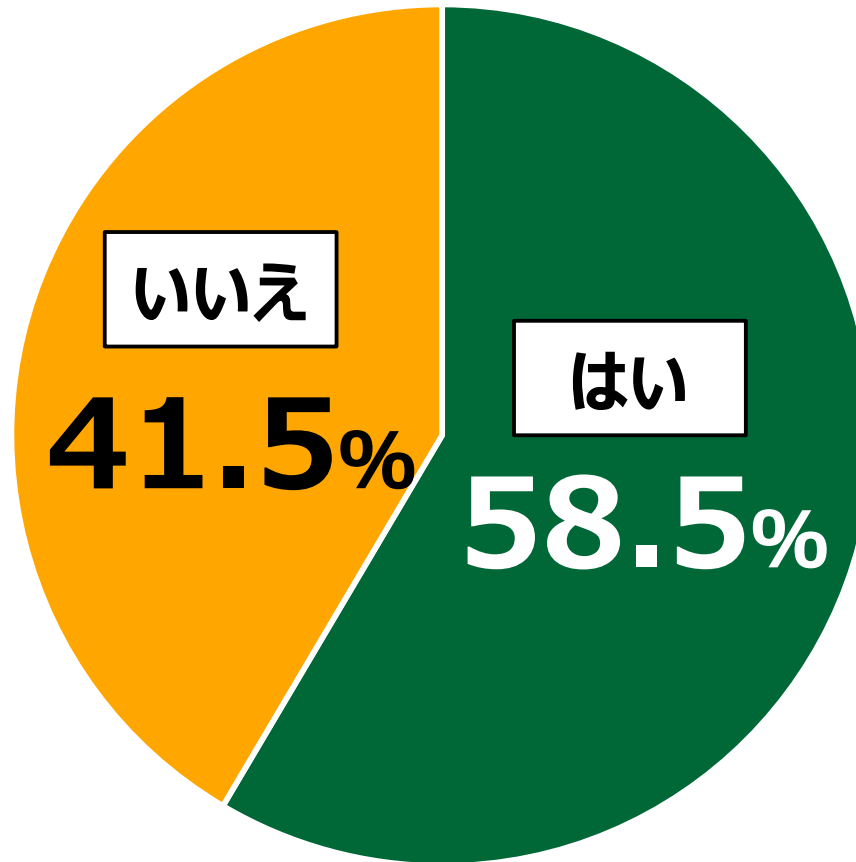
Q 緊急避妊薬を処方箋なしで、薬局で入手できることについて「反対」の方にうかがいます。  
 理由は何ですか。（複数回答）  
 （※回答拒否者除く n=50）



# 学校での性教育は役に立ったか

58.5%の人が役に立ったと回答。

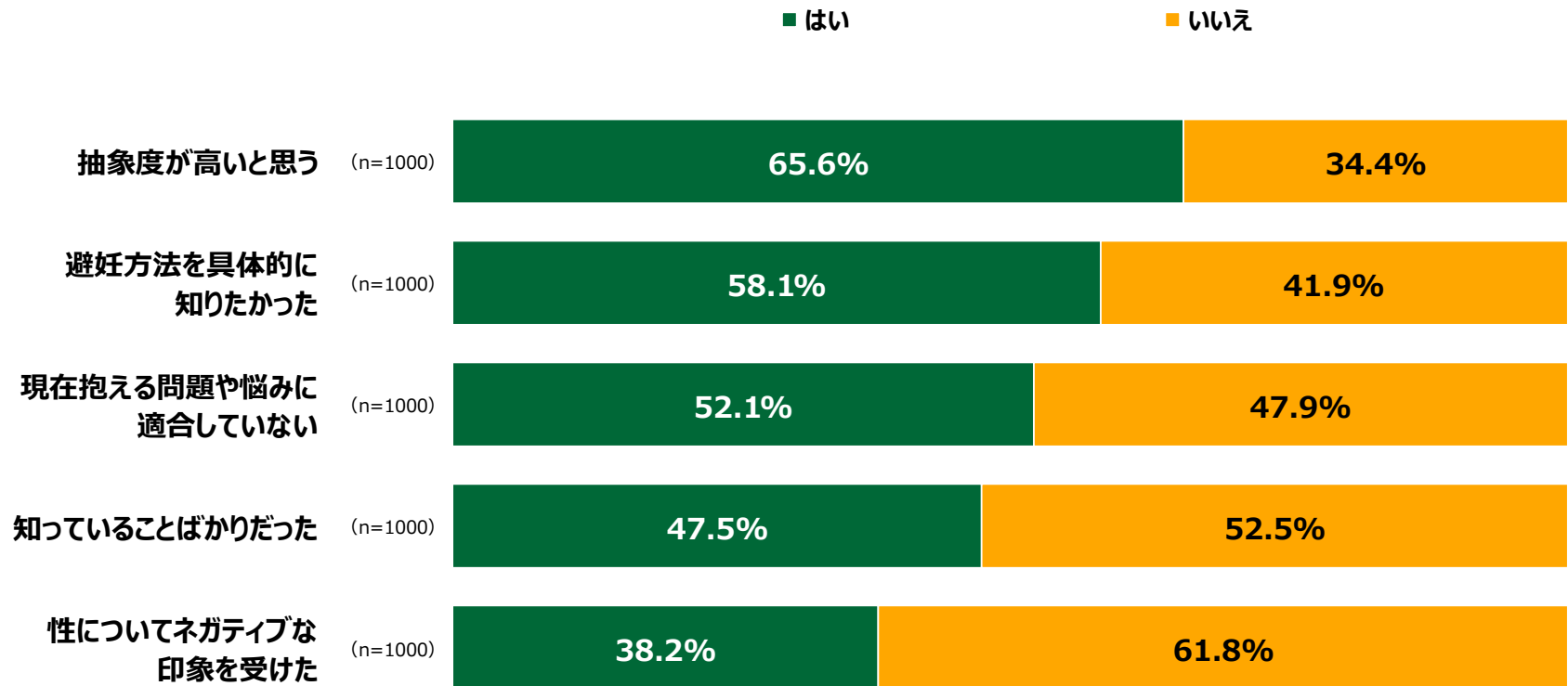
Q 学校での性教育は役に立ちましたか。（※回答拒否者除く n=897）



# 学校での性教育について

学校の性教育については、「抽象度が高いと思う」は65.6%、「避妊方法を具体的に知りたかった」は58.1%、「現在抱える問題や悩みに適合していない」は52.1%、「知っていることばかりだった」は47.5%、「性についてネガティブな印象を受けた」は38.2%。

Q 学校での性教育についてどう感じましたか。（各単一回答）



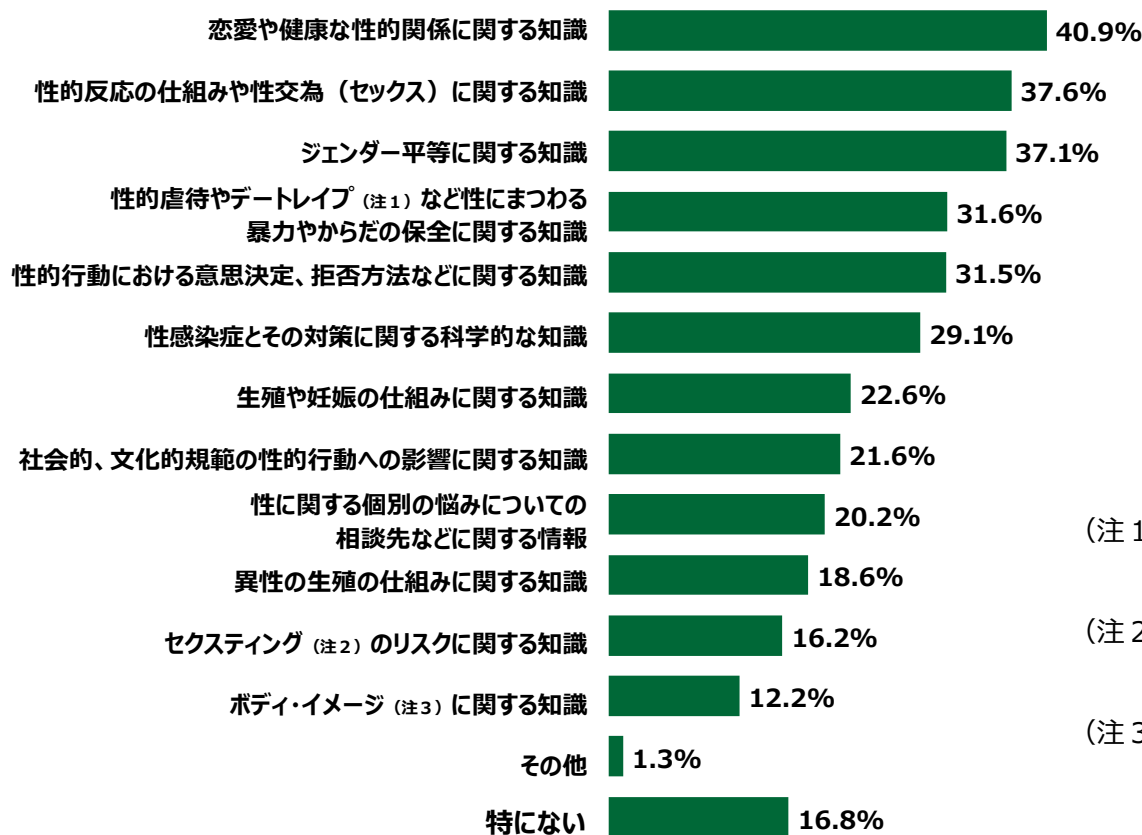
※ 「はい」 回答率降順



# 学校での性教育で深めてほしかった内容

学校の性教育でもっと深めてほしかった内容は、「恋愛や健康な性的関係に関する知識」(40.9%)が最多。ほか、「性的反応の仕組みや性交(セックス)に関する知識」(37.6%)、「ジェンダー平等に関する知識」(37.1%)、「性的虐待やデートレイプ<sup>注1</sup>など性にまつわる暴力やからだの保全に関する知識」(31.6%)、「性的行動における意思決定、拒否方法などに関する知識」(31.5%)が上位に挙がる。

Q 学校での性教育で、もっと深めてほしかった内容をいくつでも選んでください。(※回答拒否者除く n=940)



(注1) デートレイプ:恋人や知人など顔見知りの相手による無理強いや同意のない性行為のこと

(注2) セクスティング:スマートフォンなどの通信機器を使って、性的なテキストメッセージや写真のやり取りをすること

(注3) ボディ・イメージ:自分のからだについて持つイメージで、からだについてのあらゆる知覚・経験によって形成され、絶えず変化していく概念のこと